

第19回 岡大サイエンスカフェ



むし歯は感染症

～ 最新のむし歯治療と接着歯学 ～

講師：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(専門分野：歯科保存修復学)
教授 吉山 昌宏

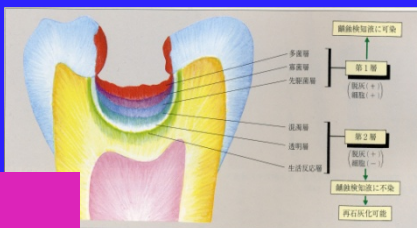
むし歯という病気は、歯質成分のアパタイトをむし歯菌が出す酸が溶かすため生じますが、歯の表面のエナメル質や象牙質内に侵入したむし歯菌は、現在のところ、高速切削器具で削らないと除去できず、むし歯の進行を完全には止められないので、20世紀後半は歯質の過剰切削が横行していました。

21世紀に入ってからむし歯治療の大原則は、従来の「予防拡大」から、「最小限の侵襲による歯科治療」へと大きく転換しています。

この治療法を支える歯科技術として「接着歯学」が近年急速に進展しています。

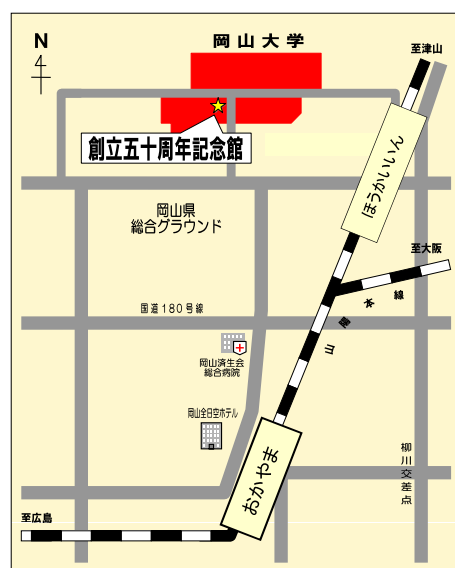
従来であれば、むし歯を箱型に大きく切削してアマルガムや金合金を充填しました。接着歯学の考えでは、最小限に切削して、ボンディング材をむし歯に塗布して光を数十秒間照射して重合させた後、歯質と極めて近似した色調をもつコンポジットレジンで再度光で重合させ、研磨仕上げすることになります。通常のむし歯であれば1時間以内で審美的な修復治療が終了してしまいます。

本日のカフェでは、むし歯の発生メカニズムから接着歯学を応用した最新のむし歯治療を分かりやすく解説したいと思います。



参加者募集

- ◆開催日時
平成22年8月19日(木)
午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
社会連携本部
FAX: 086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
氏名・年齢・連絡先は必ず明記してください
- ◆締め切り
平成22年8月17日(火) 午後5時
- ◆参加費 無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先
社会連携本部 松浦 Tel:086-251-7112



本催しはJSTイノベーションブランチャ岡山の協賛を受けております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも
(岡山大学の教職員・学生は対象外)